



特集

TV 番組「水戸黄門」はなぜ半世紀以上も長く続くのか？

現在までの放映期間は 57 年、TV 番組では異例のロングヒット

TV 番組「水戸黄門」の放映は 1969 年～2011 年（TBS）及び 2011 年～現在（BS）と、実に 57 年もの長きに亘っています。その間、一時的な中断はありましたが、再放送を含め現在も続いています。昨今の視聴したい番組が少ない中で私の好きな番組で、周囲にバカにされながらも見続けています。

若い頃、英会話クラスで、お気に入りの TV 番組が話題となったときに、米国人の女性講師（20 代？）が「水戸黄門」と話され、若い外人女性がこんな単純な、どちらかと言えば老人向けの番組を喜んで見ていると聞き、驚いたのを思い出しました。その時は、たぶん日本語の勉強で見ているのだらうと思っていました。



▲黄門が晩年隠居し「大日本史」の編纂を指揮した常陸太田の「西山荘」

今号の内容

特集 TV 番組「水戸黄門」はなぜ半世紀以上も長く続くのか？

ISO インフォメーション 「規格の改正情報」「セミナー開催案内」・・・4

エッセイ 「審査とコンサルティング」・・・5 本の紹介「ウォーレン・バフェット（世界最高の投資家の原則）」・・・6

トピックス 「小さな図書館」「將軍の資質」・・・7

■「水戸黄門」の物語（講談）はこうして誕生した

江戸中期（元禄時代）～後期（18世紀頃）には町人文化が大きく栄え、娯楽として語り芸（講談、読本、草双紙）が発展したと言われています。この物語＝「黄門漫遊記」は、次のような背景の下に生まれました。

■庶民文化の発達

戦乱から平和な世に移り約1世紀、社会の平和と生活の安定の下で、文化と共に娯楽が発達、民衆の精神の根底にある「勧善懲悪」が好まれた。

■庶民の要求

当時の社会は厳格な身分制度の下にあり、庶民は何もできず、「偉い人が庶民の味方として悪を裁く」物語が人気を博す（「大岡裁き」も同様）。

■理想的な統治者・リーダー出現への期待（名君伝説の形成）

光圀の大名としては質素な生活、「仁政」や学問的功績が評価・美化され、物語として形成された。

史実の黄門はこのような人物

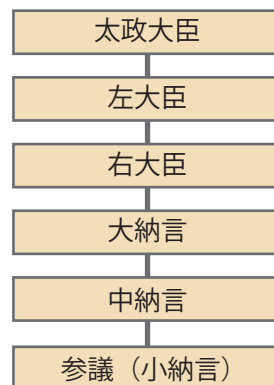
黄門のモデル

徳川光圀（1628～1701）、徳川家康の孫
水戸藩（徳川御三家）の第2代藩主

晩年（1690年10月～1700年12月）、常陸太田市の「西山荘」（表紙写真）に隠居し、大日本史の編纂を指揮した。1690年「西山荘」への隠居と共に（権）中納言「黄門」の官位を与えられ、以後「黄門」と称されるようになった（将軍綱吉との確執の結果とも言われている）。学問・文化振興に尽力し、1657年「大日本史」編纂事業を開始し、1906年（明治39年）10代藩主慶篤の孫にあたる徳川圀順によって完成された（目録を含め全402巻）。また、儒教的な政治思想（仁政）を重視し、思想・道徳（正義・公正）を重んじた名君としての評価が高い。



【参考】宮中の太政官（行政機関）の官位



ちなみに、歴代将軍の生前の最高官職は家康（太政大臣）、家光（左大臣）、吉宗（右大臣）、慶喜（内大臣）です。

■名君の誉れ高い光圀の施政

■先進的な藩政改革

平賀保秀（江戸前期の数学者、水戸藩の郡奉行）に水戸城下に暗渠（地中に埋めた樋）による上水道（笠原水道、約7キロ）を整備させた。このほか、殉死の禁止、貧民救済と農業の発展及び医療体制の整備等を進めた。

■学問と文化の振興

朱舜水（明の儒学者、1600～1682年）を柳川藩から迎え、朱子学、陽明学を普及させた。彼の死後、その遺稿は光圀によって編纂され「朱舜水先生文集」全28巻として纏められた。

■黄門の歴史事件に対する姿勢

「生類憐みの令」への反対：儒教の思想に基づき、動物を優遇して人間を苦しめるこの法令を「天下の悪法」として大反対し、藩内では人に危害を加える鳥獣の殺傷を黙認・許可し、領民を保護した。光圀が将軍綱吉へ領内の野犬の毛皮20枚以上を献上し、野犬に苦しむ江戸庶民の絶大な喝さいを浴びたという話は、黄門の人柄を物語る有名な話である（史実の記録はなく後世の創作か?）。

「赤穂浪人の吉良邸討入事件」：江戸城内の刃傷事件（1701年4月）の発生時、黄門（1701年1月没）は既にこの世になく、残念ながらこの事件に対する姿勢は不明である。生存中なら綱吉及び柳沢吉保等との関係において興味深い展開があったのではないかとと思われる。

番組が長く愛される理由とは

■ 定型化された物語の構成（毎回同じ構造・内容・解決）＝ 安心して見られる様式美



■ 勧善懲悪のわかり易さ

善悪が明確、最後には必ず正義が勝つ（ストレス解消型コンテンツ）

■ 権力の正しい使い方

権力者が庶民の味方、不正を正す正当性、社会の安定（望ましい社会像）

■ 高齢者層に適した時代劇

理解しやすい展開、一話完結、歴史的安心感、家族で安心して見られる（過激表現が少ない）、
善悪・道徳的な教育的要素を含む

（文 / 藤原 良勝 氏）

長期放映の理由は多々あるが、最大の理由は、人間の心底に流れる勧善懲悪の実現への願望である。
ドラマ「水戸黄門」はその実現を単純化し見せてくれる。

今後の特集予定

今回の特集はいかがでしたでしょうか。
今後は次のような特集を予定しています。ご期待ください。

第1号

「水戸黄門の人気」（勧善懲悪・倫理的行動）

第2号

ジョンソン＆ジョンソンの「我が信条」（行動規範）

第3号

「大石内蔵助のリーダーシップ」（望まれるリーダー像）

第4号

「リーダーとイノベーション」（変化への対応）

ISOインフォメーション

規格改正情報

■ QMS 及び EMS 規格が改正されます

2026 年は QMS 及び EMS 規格の改正年です。ISO 規格の制定は、WD（作業部会原案）→CD（技術委員会案）→DIS（国際規格案）→FDIS（最終国際規格案）→IS（国際規格）の段階を経て、その後、JIS（日本工業規格）版が発行されます。

組織様には必要な情報を適時提供しますのでご安心ください。

■ 規格改正スケジュール

以下は、今年の6月時点の情報です。

ISO9001:2026

FDIS が5月14日に発行されました。IS版は9月～11月に発行される予定です。従って、JIS版は年末～2027年初に発行されると考えられます。

ISO14001:2026

IS版が4月15日に正式発行されました。従って、JIS版は夏頃に発行される考えます。

■ 規格改正に伴う処置事項

過去の事例から次のように類推されます。

- **新規格への移行期限**：規格発行後3年
（ISO14001の移行期間は3年と決定）
- **新規格への移行方法**：維持審査及び更新審査時、または随時可能
- **移行に伴う審査工数の増加**：0.5～1.0人/日

セミナー開催案内

■ 改正規格解説セミナーを開催しています

皆様には既にご案内済ですが、当社では次のセミナーを提案し改正規格への移行（改正規格での認証取得）を支援しています。



経営者向けセミナー

経営者を対象に、規格改正の概要とその対応を解説するオンラインセミナーを下記のとおり実施し、多数の方々のご参加をいただきました。改めてお礼申し上げます。

■ 5/14, 21, 28 の3回

■ QMS, EMS ともにそれぞれ同内容で約30分後日、ご希望によりセミナーテキストをご提供しました。

実務者向けセミナー

何回でも参照・確認していただけるように「規格解説の動画USB」を提供します。7月頃から提供を開始する予定です。動画が完成次第、改めてご案内いたします。

規格改正に関するご質問、ご相談等があれば、ご遠慮なくお問い合わせください。

規格改正、解説セミナーについてのお問い合わせ先

株式会社 GIC ジャパン 審査部

TEL : 055-974-1062 email : info@gicjapan.com または seminar@gicjapan.com



[審査とコンサルティング]

審査経験の浅い審査員との雑談で「審査の場でのコンサルティング」が稀に話題になることがあります。常識的に考えれば容易に納得できることですが今一度整理してみます。

GIC ジャパン等認証機関が守るべき規格：

ISO17021-1:2015 (JIS Q 17021-1:2015)「適合性評価 - マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項」、5.2.3 項の注記で「これは、認証機関と依頼者との情報交換（例えば、所見の説明、要求事項の明確化）を妨げるものではない。」となっています。

この意味は、審査の場での顧客組織との情報交換として、規格の要求事項・内容の説明・解説をしてもよく、またより深く、現実的な理解を得るために、審査員がこれまでに遭遇・経験した実例、例え話等を説明の一部として解説することも可能であるという事です。

審査の場で議論となるのは、審査員の説明がコンサルティングに当たるかどうかと言うことです。特に認定機関（日本適合性認定協会等）の立会時には認定機関の審査員との間で、審査している審査員の説明の内容（発言・言葉尻）が議論になる場合があります。

認証機関の審査員は年に1度程度の審査で訪問組織を良く（完璧に）理解できるものではなく、また、審査員の限られた能力（経験、教育、資格等）で最適な解決策を提案するのは不可能です（仮に規格上、提案が可能であったとしても）。最適な解決策も社会・事業環境の変化及び新たな情報の提供により瞬時に最適ではなくなります。

また、一つの課題に対して種々の解決方法が考えられます。力量のある審査員とは、組織の課題を的確に把

握し、組織でも気が付かない多種多様な解決事例を提示し、規格の趣旨を説明できることです。多くの事例を提示するのはあくまでも規格の内容をよく理解いただくための説明です。

【審査現場での応答例】

「このような課題について、他社では次のような解決事例がありました。

- ・ A 案
- ・ B 案
- ・ C 案

この他にも多々優れた解決方法があると考えられます。組織でよく検討し御社にとっての最適な解決策を採用してください。」

解決事例を示す場合、少なくとも2案以上を例示します。

（寄稿 / Y 審査員）





おすすめしたい！今、読んで欲しい本

多岐に亘るバフェットの哲学が興味深い

ウォーレン・バフェット（世界最高の投資家の原則）



著者：ジャネット・ロー（平野誠一訳）

初版発行：1999年7月29日

発行所：ダイヤモンド社

目次

第1章 投資の原則

第2章 仕事の原則

第3章 経営の原則

第4章 人生の原則

第5章 交友の原則

第6章 家庭の原則

と目次が示すように株式投資から人生観及び家庭観までの幅広い課題についてのバフェットの哲学を紹介しています。企業の経営者のみならずビジネスマン（仕事人）にとって面白い読み物だと思います。

（紹介 / 藤原 良勝 氏）

ウォーレン・バフェットの紹介

「オマハの賢人」と呼ばれる慈善事業家・天才投資家

米国経済誌「Forbes（フォーブス）」の長者番付に45回連続掲載されている世界有数の長者マイクロソフトのビル・ゲイツ氏の友人で、彼の運用する慈善事業団（ビル&メリンダ・ゲイツ財団）に自分の財産の大部分を寄付したことで有名、また、2020年、日本の5大総合商社（伊藤忠、三菱、三井、住友及び丸紅）への投資で有名です。

ウォーレン・バフェットの名言

「台所に一匹のゴキブリがいれば、それは他にもたくさんいる証拠なのです」

「時代遅れになるような原則は原則じゃありません」

「ビジネスの世界で最も危険な言葉は、五つの単語で表現できます」

Everybody else is doing it.（「他の誰かがやっている」）

「小さなことで規律を破ると、大きなことでも破るようになる」

「他人が貪欲になっている時は恐る恐る、周りが怖がっている時は貪欲に」

「つねに前例ではなく、道理を重視した」

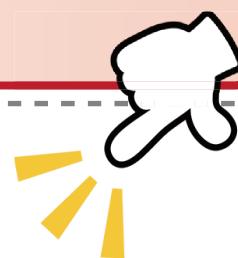
「辛抱強さや冷静さは、知能指数より重要かもしれないとは思っている」

「並み外れたことをしなくても並外れた業績を達成することはできる」

「大事なのは、自分が好きなことをとびっきり上手にやることです。お金はその副産物にすぎません」

「知性、エネルギーそして誠実さ。最後が欠けていると、前の二つはまったく意味のないものになる」

（「ウォーレン・バフェット成功の名語録」桑原晃弥、PHP ビジネス新書）



知っ得! 話題の広場

Topic

小さな図書館 (Little Free Library)

米 国の識字率の向上、地域コミュニティ作り及び図書館の少ない地域での読書の機会の提供を目的に 2009 年 トッド・ボル (Todd H.Bol) 氏が始め、現在全米及び世界に展開されています。



地域の住民が本を提供し、誰でも読みたい本があれば自由に持ち帰り、読み終わると元の本箱にもどす(無料)。日本にもこれに似た「まちライブラリー」(大阪市が実施)があります。

現在は Little Free Library org. (非営利団体) が全般管理及び本箱及び関連商品を販売しています。

写真は米国モンタナ州、ミズーラ市 (Missoula in Montana) の住宅街に設置された本箱 (小さな図書



館)、ワシントン州シアトル市 (Seattle in Washington) にも同様の本箱が設置されていました。



掲載写真：いずれも 2023 年春に藤原氏が撮影

将軍の資質： 「将とは、智・信・仁・勇・厳なり」

将 軍が備えるべき能力は、智 (知恵・才知)・信 (信頼・誠信)・仁 (慈悲・思いやり)・勇 (勇氣)・厳 (厳格・厳しさ) です。

「彼を知り、己を知れば、百戦して殆からず」及び「孫子の兵法 13 編」で有名な「孫子」計編の言葉、現在の組織のリーダーにも通じる資質と考えます。

「孫子」：著者、孫武 (春秋時代：紀元前 500 年頃)。従来「孫子」の作者は二人 (孫武と孫臏) と考えられていましたが、1972 年山東省にある前漢時代の古墓 (銀雀山漢墓) から、大量の竹簡 (竹の板に書かれた古代の本) が発掘され、二人とも実在し、それぞれの兵法書 (「孫子」及び呼称「それからの孫子」) を残したとされています。

ご意見欄

こんなご意見を
いただきました

ニュースレターは、仕事に関わらず、広い範囲の事象を記事にしてほしい

編集後記

このたびニュースレター第1号を発行しました。このニュースレターは、顧客との双方の自由な情報交換 (コミ) を目的としており、紙面は次のような構成を考えています。

- 特集：その時々話題 (関心事) を取り上げます。
- ISO 情報：ISO の最新情報・ご質問への回答等、あらゆる ISO 関連情報を提供します。
- 審査員・顧客エッセイ：現在活躍中の審査員の自由な意見、「私の審査」「私の貴重な経験」等、並びに顧客経営者及び関係者からの自由なご意見を提案いただき掲載します。
- 本の紹介：審査員・コンサルタント及び顧客経営者・関係者からご紹介の本を掲載します。
- トピック：関係者からご提供の業務改善及び経営関連の定石 (フレームワーク)、先人の知恵、読書感想等、あらゆる話題を取り上げます。
- ご意見欄：広くご意見を募集します。皆様からの自由なご意見をお待ちしています。
- 次回の特集テーマ：規格の改正 (組織の品質文化と倫理的行動) に合わせ、組織の「行動規範」を特集します。